

# 理工学

# メディアセンター

# ニュース

# No.112

JUNE.2008

"Information and Media Center for Science and Technology" Newsletter

## 6月の開館時間

無印：通常開館 月 - 金 8:45-21:30 / 土 8:45-20:00

○：閉館

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
①	2	3	4	5	6	7
⑧	9	10	11	12	13	14
⑮	16	17	18	19	20	21
⑳	23	24	25	26	27	28
㉑	30					

\*来月以降の開館予定は次のウェブページでご覧いただけます。

<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/service/calendar/>

\*塾内各地区メディアセンターの6月の開館日程は次のウェブページでご覧いただけます。

<http://www.lib.keio.ac.jp/schedule/200806.pdf>

## 目次

お知らせ 2

電子図書館サービス 2

電子ジャーナルやデータベースの OFF Campus からの利用  
文献データベース「SCOPUS」トライアル

雑誌の動き 3

コラム 3

新着図書紹介 『ヒューマン・エラーの科学：失敗とうまく付き合う法』

著作権メモ 44 4

電子的な文献複写取寄せについて

## お知らせ

### \* 館内の空調について

理工学メディアセンターでは、外気温度が 26℃、湿度が 60%以上の場合を基準に冷房装置を稼働させています。設定温度には配慮しておりますが、暑さを感じる際には窓を開けるなどして、省エネ対策にご協力いただきますようお願いいたします。

## 電子図書館サービス

\*電子図書館サービスについてのご質問等は、当センターレファレンス担当までお問い合わせください。(連絡先→ E-mail: riko-mceref@adst.keio.ac.jp, 内線 40307)

### \* 電子ジャーナルやデータベースの OFF Campus からの利用

ご自宅からも電子ジャーナルやデータベースを利用できるのはご存知ですか。このサービスは「リモートアクセスサービス」と呼ばれ、慶應義塾所属者が自宅や外出先からメディアセンターの提供する電子ジャーナルやデータベースへの Web ブラウザによるアクセスを実現するための「学外アクセス専用サービス」です。キャンパス内からの利用には、このサービスは必要ありません。

利用できる方：慶應義塾大学常勤教職員、学部学生、大学院生

アクセスのための認証：「keio.jp(慶應義塾共通認証システム)」の「慶應 ID」

対象コンテンツ：大学と電子ジャーナルやデータベースの提供元との利用許諾契約が成立したもの  
-- 例 --

<電子ジャーナル> ACS, IEEEExplore, Nature, RSC, Elsevier ScienceDirect,

Wiley InterScience, Blackwell Synergy, SpringerLINK, などの出版社が発行するもの

<データベース> Web of Science, INSPEC, Compendex, 理科年表, 化学書資料館, eolESPer,

聞蔵(朝日新聞), ヨミダス(読売新聞), 日経 BP 記事検索 ほか

ご利用は、当センターホームページ (<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/>) でリモートアクセスのアイコンをクリックし、認証ページでご自身の「慶應 ID」を入力してください。

## \* 文献データベース「SCOPUS」トライアル

「SCOPUS」は、エルゼビア社が提供する論文の引用・被引用に関する情報や抄録を収録した文献データベースで、現在ご利用いただいている「Web of Science」の対抗商品としても注目されています。多くの皆さまにお試しで利用していただき、その使い勝手や、検索結果の満足度を量っていただくためのトライアル提供を始めます。今後 Web of Science と SCOPUS のいずれを選択するかの大事な指標とさせていただきますので、皆さまの忌憚のないご意見、評価をお寄せください。

トライアル期間：6月2日（月）～7月末まで

アクセス先：当センターホームページ (<http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/>) の「ニュース」から直接ご案内しています。

ご意見・ご感想：どのようなことでも結構です。レファレンス担当までお聞かせください。

E-mail: riko-mceref@adst.keio.ac.jp 内線：40307

## 雑誌の動き

### 【誌名変更】

・ Science and Technology reports of Kansai University = 関西大学理工学研究報告

(前誌：関西大学工学研究報告 Technology reports of the Kansai University

50号 (平 20.3)-

## コラム

### \* 新着図書紹介 『ヒューマン・エラーの科学：失敗とうまく付き合う法』

村田厚生著 日刊工業新聞社 2008年

航空機、鉄道、船舶、医療現場、原子力発電所などでの大事故の原因として、大きな割合を占めるのが、ヒューマン・エラーとされる些細な人為的ミスです。こうした事故や労働災害といったエラーの背景には、最新の機械やシステムを扱いきれない人間、社会・企業の安全に対する考え方や受け止め方等の安全文化が大きく関わっています。人間のエラーや不安全行動に注目し、関心を高めていくことが重要である理由がここにあります。

本書では、『ヒューマン・エラー (失敗)』は、その予測も予防も完全には不可能である」とした上で、人間がエラーをおかす原因、その種類や性質、また、エラーを防ぐための対策等について、事例などをコンパクトにまとめたコラムも加えながら分かりやすく解説しています。ヒューマン・エラーに関わるエンジニアリングの分野は広範囲で、人間工学、システム工学、認知工学、安全工学、生産管理分野等と深く関連しています。それぞれの分野で学ぶ方々にヒューマン・エラー管理の重要性が十分伝わるよう配慮しながら、さまざまな視点から発生のメカニズムを解明し、対応・予防の具体的方策を示す内容となっています。

(請求記号 509.8@M3@1, 配架場所：本館 2F 一般図書)

## 著作権メモ44

### \* 電子的な文献複写取寄せについて

当センターを含め、主要な図書館では文献複写取寄せサービスを行っています。これは、所属する図書館に必要な文献がなかった場合、他の図書館などから該当の複写物を取寄せて求める人に提供するというものです。著作権メモ43(2008年4月号)でご紹介したように、図書館が所蔵する資料については著作権者の許可なしに複製することが例外的に認められており(著作権法31条)、このサービスもこれに則って行なわれています。

第三十一条 図書、記録その他の資料を公衆の利用に供することを目的とする図書館その他の施設で政令で定めるものにおいては、次に掲げる場合には、その営利を目的としない事業として、図書館等の図書、記録その他の資料を用いて著作物を複製することができる。

一号 図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分(発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあつては、その全部)の複製物を一人につき一部提供する場合 以下略

この文献複写取寄せサービスについて、「FAXで文献を送ってもらえますか?」「PDFなどの電子的形式でメール送信してもらえますか?」という質問がよせられることがあります。必要な文献を迅速に入手でき、メールであれば紙を消費せず済むという点でこれらは非常に魅力的ですが、結論としては、残念ながら現状では「できない」ということとなります。なぜならば、著作権には複製権、上映権、頒布権などさまざまな権利が含まれており、その1つに「公衆送信権」があるためです。

第二十三条 著作者は、その著作物について、公衆送信(自動公衆送信の場合にあつては、送信可能性を含む。)を行う権利を専有する。

ここでいう「公衆送信」とは、(a)テレビ・ラジオなどの「放送」・「有線放送」、(b)インターネットなどを通じた「自動公衆送信」、(c)FAXやメールなどその都度手動で送信するもの、などです。(c)については送信相手が個人であれば「公衆送信」に当たらないようにも思われますが、FAXやメールは可能性として複数の相手に送信することもできるため、これに含まれます。公衆送信権は、31条で定めている複製権とは異なり、図書館における例外規定がありません。したがって、FAXやメールで複写物を提供することができない、ということになります。

なお、著作権管理団体との協議の結果、図書館対図書館のFAX送信については、一定の範囲内で認められるようになった経緯もあり、更なる進展が望まれるところです。

◆発行：慶應義塾大学理工学メディアセンター

E-mail : riko-mcinfo2@adst.keio.ac.jp Home Page : <http://scitech.lib.keio.ac.jp>

電子版のご利用はこちら→ <http://www.scitech.lib.keio.ac.jp/guide/publication/mcnews.html>